

地域交流の場ぽつぽつ 地域の災害リスク編 5月18日 活動報告

9時45分 カフェ街路樹にて集合

参加者名簿 次第(本日の流れ確認)

配布資料 ぐらしの防災ファイル アンケート用紙

役割 講師(大村さん) 司会(岡田さん) 始め・終わりの挨拶(高田さん)

受付(松本さん)(配布資料とボールペン配布、参加費200円徴収)

カメラマン(岡島さん、岡部) サポート役(岡島さん、沖さん)

会場提供・お茶菓子準備・講師対応(沖さん)

参加者の詳細は以下になります。

性別 男性 2人 女性 10人

配布資料 「地域交流の場ぽつぽつ 地域の災害リスク編」(次第)

「ぐらしの防災ファイル(プログラム1の資料)」

「アンケート用紙」(ボールペン等)

実際の状況を報告致します。

全体の様子



新たな参加者(男性2名)や友人と一緒に参加等、雰囲気も良い。

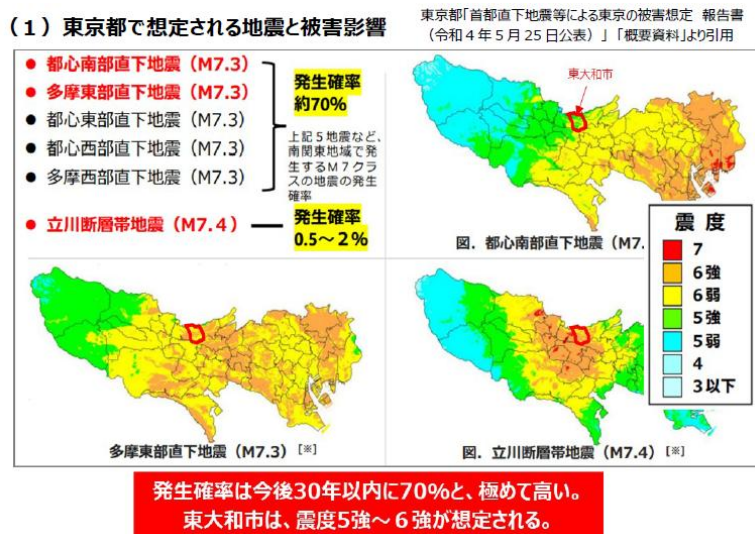
男性参加者は『感震ブレーカー』の記事を見て関心を持ったと話される。

能登半島地震の影響もあり、防災について学ぶ事は関心が高いと感じました。

今回参加者からの挨拶も実施しました。南街地域だけでなく、桜が丘・湖畔地区からの参加者も確認出来ました。



はじめに、東大和市の地震災害リスクを確認しました。



今後30年以内に地震発生率70%と震度5強~6強が想定されます。

今回のメインテーマが

[1] 火を出さない
大地震の時、何としても自宅からの出火を防ごう！！

になります。

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、出火原因の約6割が電気火災です。
NHKが作成したYouTube動画を見ながら学びました。

動画は <https://www.youtube.com/watch?v=r7s3d8iCimg> になります。

防災グッズを実演しました。

参加者にイメージがついたのか、価格を気にするような声も聞こえました。



次に必要なのは「消火器」です。火災が発生したら素早く火元を消す事が必要です。



消火器には 粉末系消火器、水系消火器、ガス系消火器 の3タイプあります。それぞれのメリット・デメリットを確認しました。

身近にある「消火器」の項目には参加者より多くの質問を頂きました。

消火器には使用期限10年間であり、交換には「消火器リサイクルシール」が必要な事を初めて知りました。消火器の定期点検も怠ることは出来ません。粉末系消火器は年に1回は逆さにして粉末を均等にする必要があります。初めて知る情報や質問が続きました。今回は交流時間の確保が難しい会になりました。

アンケート回収 11 枚

①防災について関心が高まりましたか？

・そう思う 10 名 ・ややそう思う 1 名

②防災レベル診断は何点でしたか？

・20 点 1 名 ・40 点 3 名 ・50 点 2 名 ・70 点 1 名 ・無回答 4 名

③今回の開催を何で知りましたか？

・友人 3 名 ・その他 家族からの紹介 ほっと支援センターから紹介 自治会

④感想、印象に残ったこと

- ・感震ブレーカーについて以前から関心がありました。
詳細のご説明と一例の現物紹介を頂き理解が深まった。
- ・球式と足元灯を早速購入したい。良い機会を設けて頂き有難うございました。
- ・ファイル素晴らしいです。有難うございました。
- ・1 回で全て忘れてたり覚えられない事も、繰り返し学ぶ事が大切だと思います。
- ・大変色々参考になりました。初耳で学ぶ事が多かったです。

以上になります。今回アンケート記入の時間の確保も難しく感じました。前回同様、自由記載欄に多く記入があり関心度が高いのを感じました。

常連参加者・男性参加者も増えつつあります。参加者の「くらしの防災ファイル」のプログラム資料が増えていく事を望みます。